北海道倶楽部
毎月1回1日発行 定価80円

公益社団法人北海道倶楽部
〒100-0014 東京都千代田区永田町2-17-17 北海道東京事務所1 階
TEL 03-3581-4021 FAX 03-3581-4022
E-mail hkkd-clb@soleil.ocn.ne.jp
http://www.hokkaido-c.or.jp/

We Love Hokkaido
北海道 "NOW" KITAKARA
北海道情報紙 知らないこといっぱい！！

北方四島に東南アから労働者

観光客誘致の動きも

ロシアが実効支配する北方四島で、第三国からの労働者や観光客の受け入れが活発になっている。色丹島には東南アジアからの労働者が確認され、中国から観光客の誘致を目指す動きも活発化しているという。日本政府関係者は「流入を食い止める有効な手立てはない」と、半ばお手上げ状態だ。北海道新聞が伝えた。

北海道新聞が報道

国後島穴澗（クラボザボツコエ）で水産加工場を経営する、「クリリスキー・ルイバク」は9月、インドネシアとミャンマーから採用した労働者の写真を、通信アプリで3回にわたり発表した。

それによると、労働者は計69人で、「大規模で長期的」な外国人労働者採用プログラムの一環としている。

四島ではこれまでロシア本土からのほか、第3国では旧ソ連圏の中央アジアや北朝鮮からの労働者が確認されていた。島の関係者の話では、東南アジアからの労働者が本格的に流入し始めたのは9月に入ってから。年齢は30歳以下といい、寮で生活している。

ロシア語はほぼ話せないものの、工場は機械化が進んでいるため、業務に支障はないようだ。

背景にあるのは人手不足。国後・色丹両島を管轄する、南クリール地区長は7月、ロシア紙に漁獲量が増加しているとして、「今年は色丹島の加工場で昨年の2倍人員が必要になった」と説明した。月給は最高13万ルーブル（約24万円）で、ロシア人の水準より安く、人件費削減の狙いもあると見られる。

一方、択捉島では近年、中国人向けの極東観光ツアーに組み込まれ、中国のある旅行会社はウラジオストクや同島を巡る20日間のツアーを企画、参加者を募集している。

北方領土返還を求める日本は、日本人や外国人がロシアのビザを取得して島を訪問することは認めていない。日本外務省は「わが国の立場と相いれず、必要な対応はとっている」とするが、詳細は明らかにしていない。


北方領土色丹島。東南アジアからの労働者が流入しているという。

日ハム・伊藤投手に沢村賞

道産子選手では初めて

プロ野球北海道日本ハムのエース、伊藤大海投手（28）＝渡島管内鹿部町出身＝が、今年の沢村賞に選出された。道内出身選手では初受賞、日ハムの投手では2007年のダルビッシュ有投手（39）＝米大リーグ・パドレス＝以来2人目の快挙。

沢村賞は往年の名投手、故沢村栄治氏を記念し、シーズン中最も活躍した先発投手に贈られる。

伊藤投手は今季、14勝、195奪三振、6完投、防御率2・52、196回3分の2、27試合登板、勝率6割3分6厘と見事な成績を収め、最多勝と最多奪三振のタイトルを獲得した。

10月末開かれた沢村賞選考委員会では、横浜DeNAの東克樹投手ら3人も最終候補にあがったが、堀内恒夫委員長は「両リーグを通じて数字的に伊藤投手がナンバーワンだった」と高く評価した。

伊藤投手は「ピッチャーとして憧れていた賞で、目標にしてきた。選んでいただき、本当に光栄。この賞をいただいた喜びをかみしめつつ、さらなる高みに到達するため、今後も日々のトレーニングに励んでいきたい」と、喜びを語った。

ゴールデングラブも

伊藤投手は、プロ野球の守備のベストナインを選ぶ、三井ゴールデングラブ賞にも選出された。投手で日ハムから選ばれたのは、2008年のダルビッシュ有投手以来、6度目。

伊藤投手は、痛烈なピッチャー返しを巧みなグラブさばきで捕球する場面が目立ち、28捕球はパ・リーグ最多。2位のモイネロ投手（ソフトバンク）を大きく引き離した。

伊藤投手は「名だたる先輩方が手にされてきた光栄な賞。この名に恥じない活躍を続けられるよう、練習に励んでまいります」と喜んだ。

第222回北星会 優勝は 成島さん

ゴルフの第222回北星会は10月30日、12人が参加して千葉県・我孫子ゴルフ倶楽部で開かれ、成島康之さん＝写真左＝がネット74・4（グロス90、ハンデ15・6）で優勝、内閣総理大臣杯を獲得した。

2位から5位までは次の通り（敬称略）

▽2位（北海道知事杯）鈴木一巳（G86、H10・8、N75・2）▽3位（北海道倶楽部会長杯）八木崇文（G98、H21・6、N76・4）▽4位 三木茂（G90、H13・2、N76・8）▽5位 上條努（G99、H21・6、N77・4）

来年1月30日に新年交礼会

北海道倶楽部の2026年新年交礼会は、1月30日（金）午後6時から東京・千代田区のホテルニューオータニ（麗の間）で開かれる。

立食形式で会費は1人1万5000円。会員ら約100人が参加する見込みで、新年を祝うとともに、親睦を深める。



★北海道倶楽部会報は、北海道新聞社から記事、写真の協力を得て、作成しています。

知事エッセー ～渡島管内で～



北海道知事の鈴木直道です。今回は、渡島管内松前町で伺った、官民連携によるまちづくりの取組について紹介します。

平成31年に松前町で陸上風力発電事業を開始した東急不動産は、同年12月、町と「風力発電事業と地域活性化に関する協定」を締結し、町内小・中学校での再エネの出前授業や、町の将来ビジョン作成など、様々な取組が進められてきました。

昨年5月には、道南エリア初の「まちの駅」に認定された「TENOHA松前」が開設されました。私も施設内を拝見しましたが、バスの待合所になるラウンジのほか、カフェやコワーキングスペースが設けられており、子どもたちからお年寄りまで、誰もが気軽に立ち寄り、交流できる心地よい空間が広がっていると感じました。

今年4月には、将来的に再エネ100％のまちを目指して、町と同社が地域電力会社を設立し、現在、町内10カ所の公共施設に再生可能エネルギー由来電力が供給されています。これからも、豊富な再エネ電源を活かして環境と経済の好循環が生み出され、松前町で官民連携によるまちづくりが続いていくことを期待しています。





12月18日に合同会議

北海道倶楽部の今年最後の理事会・評議員会合同会議が12月18日（木）午前11時から、倶楽部事務局会議室で開かれる。

2026年度予算案などを協議するほか、評議員会が議論を続けてきた、27年の創設百周年に向けた記念イベントや、会員企業などに協力を求める寄付について話し合う。

ふるさとの本ご案内 北海道新聞社



デジタルインフラと北海道
DXで耕す北の未来
北海道ニュートピアデータセンター研究会 著
A5判 192頁 定価1760円
情報通信ネットワークやデータセンター事業の最先端を知る9人が現状と未来をレポート。ワット・ビット連携とデジタル北海道の針路を描く。



北海道の業界地図
2026-27
北海道新聞社 編
B5判 208頁 定価1980円
北海道のビジネス情報を一冊に凝縮！過去最多51業種2500社を超える道内企業の規模や特徴、企業間の相関関係を業界ごとにわかりやすく図解。

北海道新聞社出版センター 〒060-8711 札幌市中央区大通東4丁目1
TEL 011-210-5744 受付 9：30～17：30（土日・祝日を除く） 価格は税込
出版センターにお電話いただければ直接手配もいたします(代引き・送料別途)
お求めは書店またはインターネットで

道内の浜、明暗くっきり

秋サケさっぱり、スルメイカどっと

秋サケはさっぱり、スルメイカは豊漁…。道内の浜でこの秋、明暗がくっきり分かれている。オホーツク海沿岸の漁師は「とにかく海にサケがいない」と嘆き、函館の水産業者は「イカのマチが戻ってきた」と笑顔を見せた。


豊漁のスルメイカ。市場は活気にわいた（北海道新聞社提供）

道が公表した9月末時点の秋サケの全道漁獲数は、前年同期比47・7％減の317万1990匹で、過去10年で最低となった。

海区別では、全体の約7割を占めるオホーツクが50・7％減の218万4803匹、根室が74・9％減の17万5908匹、日本海が32・1％減の33万3508匹―など。

9月から漁期に入ったオホーツク管内の漁協の担当者は「昨年同期の半分以下。サケの大きさは例年並みだが、海に（サケが）いない」。

過去10年の9月末時点の漁獲数は約600万～1700万匹で推移。海温上昇などの影響で、今季はこれまで最低だった昨年同期の605万8832匹を大きく下回る結果になった。

一方、スルメイカ漁。函館や恵山沖で漁獲が増え、函館水産物地方卸売市場では、1日の取扱量が30トンを超える日も。昨年と違い港に活気が戻ってきた。

同市場を運営する函館魚市場によると、9月の取扱量は8日以降、1日4トン以上が続き、11日には今季最高の32トンを記録。18日時点で111トンと、昨年9月1カ月間の5倍超に達している。

スルメイカの生態に詳しい専門家は「黒潮の流れが変化し、太平洋を回遊する秋生まれのイカが増えている。来年も漁獲が期待できる」と分析する。

豊漁を受けて、水産庁は11月から禁漁となった小型船（5トン以上30トン未満）による、スルメイカ釣り漁の漁獲可能量を、資源量の増加を反映させ857トン増やして5757トンにする、と決めた。だが、全国の漁獲量はすでに5896トンに上っており、操業はできない状況だった。

ただ、道は11月10日から資源調査への協力を条件に398トン分の漁獲枠を設定すると発表、11月から漁が出来なくなっていた、道内の小型船の約200隻が操業可能となった。

札幌「4PLA」全面開業

地下1階に飲食店街オープン

札幌・大通地区の商業施設「4PLA（プラ）」地下1階に、飲食店街「ODORiBA　大通バル」が10月初めオープン、これにより同施設は全面開業となった。かつて「4丁目プラザ」の愛称で道内の若者文化の発信地として親しまれた商業ビルは、年代を問わず楽しめるビルに生まれ変わり、新たにスタートを切った。

4PLAは2022年に閉館した4丁目プラザの跡地に、今春完成した地上13階、地下1階の複合ビル「札幌4丁目プレイス」の地上3階から下で営業する。

高級時計店などが入る1階部分が4月、喫茶店やアパレルが入居する2、3階部分が8月に完成、営業を始めた。4階以上はオフィスとなっている。

地下1階で開業した「大通バル」では飲食店8店が営業。神戸市に本店を置くハンバーガーショップ「BURGER　STAND」や、「韓国牡蠣酒場ドンソク」など道内初上陸の店も。開業初日から大勢の市民でにぎわった。

「前身」の4丁目プラザは若者向けファッションと、雑貨の商業ビル、施設には飲食のイメージはなかった。よく足を運んだという札幌市内の70代の夫婦は、「当時を思い出しながら、今でもこの場所を楽しむことができてうれしい」。

事業主体の鹿島（東京）は「（地下街の）ポールタウンから気軽に立ち寄れる大通バルをはじめ、誰もが楽しめる施設になっている」と話している。


開業初日からにぎわう飲食店街（北海道新聞社提供）

今年も知床物産展

東京・世田谷 千歳船橋駅前で

根室管内羅臼町が主催する「知床らうす物産展」が、今年も11月15、16日の両日、小田急・千歳船橋駅前広場（東京・世田谷区）で開かれた＝写真。毎年恒例のイベントで、地元の秋の風物詩として定着。名物の魚介類の炭火焼きなどを目当てに大勢の人たちが訪れた。

千歳船橋は俳優の森繁久彌さんが長年住み、愛した街。映画を縁に羅臼町とはつながりが深く、毎年、千歳船橋商店街振興組合などの協力を得て物産展を開催してきた。

会場のブースでは、羅臼産の新鮮な魚介類や農産物が販売され、羅臼高校生による「らうす大漁焼き」実演も。同町と交流を続ける埼玉県北本市、静岡県川根本町もブースを設け、名物トマトカレーや特産のお茶などをPR、販売した。

イベントをけん引してきた、森繁さんの次男建さんは「主催が羅臼町だけになったのは残念だが、大勢の都民らが来てくれる。楽しんでもらいたい」。会場を訪れた湊屋稔羅臼町長は、地元関係者との交流を楽しんだ。



札商 新会頭に安田氏

「人口減対策最優先」



札幌商工会議所は11月4日開いた臨時議員総会で、北洋銀行（北海道倶楽部会員）会長の安田光春氏（66）＝写真、北海道新聞社提供＝を新会頭に選出した。安田氏は慣例により12月1日開かれる、北海道商工会議所連合会の臨時会員総会で、会頭に就く見通しだ。

記者会見で安田氏は、道内の人口減少対策を最優先課題とした上、「各地の人口を維持するためにも、地元企業が適正な利益を上げ続けることが重要」と強調。

半導体関連産業など新たな産業への対応について「（道内中小企業）1社ごとでは難しい。支援も商工会議所の重要な使命」と述べ、今後、具体策を検討する考えを表明した。

また、札幌への冬季五輪・パラリンピック招致について、「全く将来的に諦めたわけではない」と話した。

北海道電力・泊原発（後志管内泊村）の再稼働を巡っても言及。「前提となるのは安全。道民が納得する説明をして、安全だと理解していただくことが重要」と念を押した。

ほっかいどう応援セミナー

東京で開催

11市町村魅力をアピール

道内の市町村がそれぞれの魅力をアピール、併せて首都圏の企業・団体にプロジェクトへの支援を求める、「ほっかいどう応援セミナーin東京」（道主催）が11月18日、東京・品川区のシティーホール&ギャラリー五反田で開かれた。

セミナーには首都圏から100を超える企業・団体が参加。札幌をはじめ、北見、旭川、上川管内音威子府村など道内11市町村が地域の「思い」を売り込んだ＝写真。

このうち、人口が道内最少の音威子府村は、村立おといねっぷ美術工芸高校を軸にした「村づくり」を紹介。「過疎地中の過疎の村だが、『おと高』では道外を含め120人が学んでいる。今後、卒業生の雇用の場の創出などで暮らしやすい音威子府村を目指す。とにかく一度訪ねてみてほしい」などと訴えた。

財政問題に直面している北見市は「こんな時だからこそ、市民の笑顔が大事。笑いの力で地方創生を推進するため8月、漫才協会と協定を結んだ。この取り組みにぜひ支援を」と、全国的にもユニークな施策への協力を求めた。



札幌市は、さっぽろ圏の人材育成を狙う「未来創生プロジェクト」を説明。上川管内上川町は、まち全体を一つの学園と見立てた「上川町学園構想」の推進をアピールし、「学校・家庭・地域が一体となった教育の仕組みを、官民で構築したい」と話した。

主催した道は「北海道の未来づくりのためには、企業・団体をはじめ、個人の知恵と力が欠かせない」としている。

北海道新聞社の本

★北の自然じかん　日本一の氷の道ができるまで
NHKスペシャル「氷 その神秘の世界～映像詩 天塩川」取材班　編　B5判　64頁　定価1760円

北海道北部を流れる天塩川を舞台に、全長100kmを超える長大な「氷の道」ができるまでのメカニズムを貴重な画像とともに解説する。



★ファイターズ2025オフィシャルグラフィックス
北海道新聞社　編　A4判　128頁　定価1540円

シーズン開幕戦からクライマックスシリーズ（CS）までの全試合を収録。ベストショットをまとめた公式写真集。

★ファイターズカレンダー2026
北海道新聞社　編　A4判（広げるとA3判）　定価1320円

躍動する選手たちの迫力を再現！　臨場感ある写真で、一年中楽しめる月めくり壁掛けカレンダー。

ニセコ町のご紹介

「豊かな自然に育まれた町 ニセコ町」

観光スポット

○ニセコ温泉郷

ニセコ温泉郷は、ニセコ町と隣接する蘭越町に点在し、国民保養温泉地として指定されている温泉群です。その歴史の始まりは、イワオヌプリ周辺で硫黄採掘が始まった明治時代までさかのぼり、当時から漁師や猟師、登山家などたくさんの人に親しまれてきました。

ニセコ温泉郷には、10種類に分類される温泉の泉質のうち7種類が存在しており、温泉施設によってさまざまな色や香り、効能を楽しむことができます。泉質が豊富であることから、自分の目的に合わせて温泉を選ぶこともできます。「町内のアクティビティを楽しんだ後に汗を流したい」、「日ごろの疲れを癒したい」、「おいしいものを食べて、ゆっくりしたい」など、楽しみ方はさまざまです。お気に入りの温泉を探しに、何度でも足をお運びいただけます。



○道の駅「ニセコビュープラザ」

道の駅「ニセコビュープラザ」は、国道5号と道道岩内洞爺線が交差するところに位置し、羊蹄山やニセコ連山を眺望できる道の駅です。

特産品販売を行う情報プラザ棟には、町産生乳で作ったチーズやスイーツ、町産米を100％使用した日本酒のほか、ワインやビール、ジンなど、豊富な特産品が並びます。農産物直売所では、旬のおいしい採れたて野菜をお手頃価格でお求めいただくことができます。また、テイクアウトショップも併設されており、お買い物や景色を楽しみながら、地元グルメを味わうこともできます。豊かな自然によってはぐくまれた「ニセコ町ならでは」のおいしい味に出会えること、間違いありません。



○ニセコエリア

ニセコエリアは、ニセコアンヌプリを頂点に連なるニセコ連山、日本百名山の羊蹄山などの山々に囲まれています。また、中央には清流日本一の尻別川が流れ、1年を通して豊かな自然を楽しむことができる絶好のフィールドです。

冬季に降り積もる雪はパウダースノーと呼ばれ、標高の低い場所でも楽しめることから「奇跡の場所」として世界中から注目を集めています。スキーやスノーボード、バックカントリーなどといったアクティビティが人気で、ニセコ町の雪を楽しみに世界中からスキーヤーが集まります。



夏季には、登山やラフティング、サイクリングなどのアクティビティを体験するために多くの人が訪れています。ニセコアンヌプリゴンドラに乗ると、ニセコエリアを一望できる1000m台地展望台を訪れることができます。天気が良い日には、ニセコ町内や内浦湾まで眺めることができる絶景スポットです。



○有島記念館

有島記念館では、『カインの末裔』や『生れ出づる悩み』、『或る女』などの小説で知られる文豪・有島武郎とその作品、有島農場の足跡を紹介しています。有島のあゆみを紹介する常設展示のほか、ニセコ町にゆかりのある芸術家の作品が並ぶ展覧会や音楽コンサート、朗読劇などを実施しており、さまざまな文化に触れることができます。



有島武郎は、1922（大正11）年に自らが所有する農場を小作人全員の共有として無償解放しました。有島武郎が望んだ相互扶助の精神は、現在もニセコ町に根付いており、ニセコ町のまちづくりに生かされています。



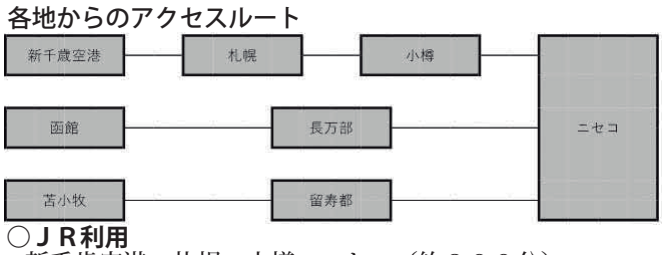
○ニセコ鉄道遺産群

2021（令和3）年の夏、ニセコ駅隣接地にニセコ鉄道遺産群が誕生しました。旧簡易軌道真狩線狩太駅や軌道の転車台があり、国鉄との貨物積替場所でもあったこの場所に、「蒸気機関車9643」や「旧新得機関区転車台」、「ニセコエクスプレス」が保存されています。

春から秋にかけての土日には、ニセコエクスプレス車庫扉を開放しており、見学することが可能です。また、随時車内見学ツアーなども実施しています。ニセコ駅周辺や羊蹄山、ニセコ大橋の風景と併せてお楽しみいただけます。

ニセコ町へのアクセス

各地からのアクセスルート



○ＪＲ利用
- 新千歳空港→札幌→小樽→ニセコ（約２００分）
- 札幌→小樽→ニセコ（約１７０分）
- 函館→長万部→ニセコ（約２２０分）

○バス利用
- 札幌→小樽→ニセコ（約１８０分）
- 苫小牧→留寿都→ニセコ（約２００分）

○自家用車・レンタカー
- 札幌市から国道２３０号、道道９７号、道道６６号経由（約１２０分）
- 小樽市から国道５号経由（約９０分）
- 千歳市から道道１６号、国道２７６号、道道９７号、道道６６号経由（約１２０分）
- 苫小牧市から国道２７６号、道道９７号、道道６６号経由（約１１０分）
- 函館市から国道５号、道央道、国道５号経由（約１８０分）

「ニセコ町観光協会ホームページ」はこちらから↑

町内の移動には、デマンドバス「にこっとＢＵＳ」（事前予約制）が便利です。また、カーシェアリングサービスもご利用いただくことができます。

市町村から

○ニセコ町について

後志管内のほぼ中央に位置するニセコ町は、東に羊蹄山、北にニセコアンヌプリを望み、町の中央には尻別川が流れています。内陸的気候で、平均気温はおよそ6.3℃、世界有数のパウダースノーの聖地であり、冬期の最深積雪は2mに達することもあります。

○主な産業

ニセコ町の主な基幹産業は農業と観光です。

栽培される農産物は、米やジャガイモ、メロン、アスパラ、ブロッコリーなど多岐にわたります。町内で栽培された旬の農産物は、直売所で購入したり、町内飲食店で楽しむことができます。



観光では、良質なパウダースノーを求め、国内外から多くの観光客が訪れ、ウィンタースポーツを楽しんでいます。また、夏季は登山やラフティング、サイクリングなどニセコ町の自然を満喫できるアクティビティが盛りだくさんです。

この産業の基盤となっているのは、豊かな自然環境です。2001（平成13）年に全国で初めて制定した自治基本条例「ニセコ町まちづくり基本条例」による情報共有・住民参加のまちづくりを進めるとともに、豊かな自然や良好な景観を維持するために、自然環境に調和し、景観に配慮したまちづくりが行われています。

○イベント・グルメ

2月中旬に行われる「シーニックナイト」は、ニセコ駅前を中心にキャンドルが設置され、まちを幻想的な灯りで照らします。ニセコ駅前温泉綺羅乃湯駐車場には「ＮＩＳＥＫＯ」の雪文字が登場し、素敵に彩られます。

8月第一土曜日は、「七夕の夕べ花火大会」が行われます。ステージイベントや昔遊び、ものづくり体験などさまざまな催しが楽しめる一大イベントです。露店やキッチンカーの出店もあり、おいしいグルメを楽しむこともできます。イベント当日にはコスチュームコンテストやキッチンカーの出展などもあり、華やかな雰囲気に包まれます。



9月中旬に行われるニセコマラソンフェスティバルには、毎年各地からたくさんの人が集まります。秋景色の町内を力強く駆け抜けます。

10月中旬には、「ニセコハロウィン」が行われます。9月中旬から、町内は黄色カボチャで彩られ始めます。イベント当日にはコスチュームコンテストやキッチンカーの出展などもあり、華やかな雰囲気に包まれます。

ニセコ町のグルメを楽しむには、「ニセコ町デジタルグルメガイドマップ」が便利です。このマップは、おしゃれなカフェやレストラン、パン・ケーキ屋さん、ボリューム満点の食堂や町民が集まる居酒屋などを簡単に検索できます。イベントでニセコ町を訪れた際は、町内の「おいしい」を見つけてみてはいかがでしょうか。

デジタルマップ「ニセコ町グルメガイド」はこちら↑

移住について

○安心して働くために

農業と観光が基幹産業のニセコ町は、その特性により国内外からたくさんの人が訪れる地域であるため、観光客をターゲットとした事業展開のチャンスがあります。飲食店などの起業、冬季のウィンタースポーツのインストラクターなど、季節ごとに仕事を選択する働き方を選択することもできます。ニセコ町商工会と協働して、創業に向けた支援や相談に応じています。

○マルチワークという働き方

季節や時期に応じて複数の仕事を組み合わせて働く「マルチワーク」という新しい働き方を実現するため、「ニセコ移住ワーク協同組合」が設立されました。この組合で働く方は正社員でありながら、一つの仕事にとらわれず、町内のさまざまな事業に関わりながら自身の成長にもつなげることができます。

○移住相談窓口

ニセコ中央倉庫群（字中央通）には、移住相談窓口を設置しています。自身もニセコ町に移住され、起業し、子育てをしている移住定住相談員が、生の声をお届けします。

また、移住ポータルサイトも開設しており、移住者目線で分かりやすい情報発信を行っています。

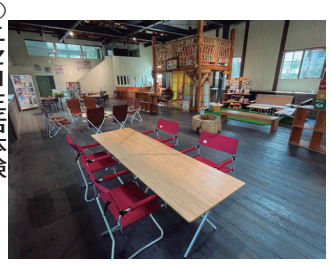
↑「ニセコ移住ワーク協同組合」はこちら

↑「移住ポータルサイト」はこちら

○ニセコ生活体験

町内の宿泊施設では、長期滞在プランを用意しています。地元ならではの情報を入手したり、ニセコ町民の暮らしを体験してみてはいかがでしょうか。

（担当：企画環境課、商工観光課）



ふるさと納税

ニセコ町では、多くのみなさんの応援のもと、情報共有による住民主体のまちづくりを進めてきました。こうしたニセコ町の取り組みに共感してくださるみなさんの思いを寄付という形でお受けし、まちづくりに生かしています。

お寄せいただいた寄付は、「環境の保全および景観維持、再生に関する事業」や「教育、スポーツの振興及び子育て環境整備に関する事業」、「産業振興に関する事業」、「まちづくりに関する事業」などの事業に活用しています。みなさんの思いをより生かせるよう、現在、11の寄付事業を設定しています。

みなさんからいただいた寄付は、「ニセコ町ふるさとづくり基金」として管理しています。令和6年度は、桜ケ丘公園保全や鉄道遺産群保全、子どものスポーツ・交流活動支援、ごみステーション整備などに活用させていただきました。

また、寄付をいただいたみなさんとのつながりを大切にするため、「ふるさと住民票」の取り組みも実施しています。1万円以上の寄付をされた方のうち、ご希望の方に登録いただけます。気軽にニセコ町と関わり、引き続き応援いただける方のご登録をお待ちしています。

↑「ふるさと納税」詳細はこちら

（担当：企画環境課）

※掲載されているイベント情報は諸事情により開催日程の変更、中止の可能性があります。ご了承ください。

●お問い合わせ
ニセコ町役場　〒０４８－１５９５　北海道虻田郡ニセコ町字富士見５５番地
ＴＥＬ：０１３６－４４－２１２１（代表）　ＦＡＸ：０１３６－４４－３５００
E-mail：koho@town.niseko.lg.jp　公式ホームページ：https://www.town.niseko.lg.jp/



５月号　北海道東京事務所

大阪・関西万博でアイヌ文化が世界に向けて発信されました。



９月号　北海道根室振興局

北海道倶楽部のキャンペーンの一つ、北方領土返還運動に関する 広報は、９月号と１１月号に掲載されました。来年も引き続き取り組んでまいります。



１１月号　北海道総務部北方領土対策本部

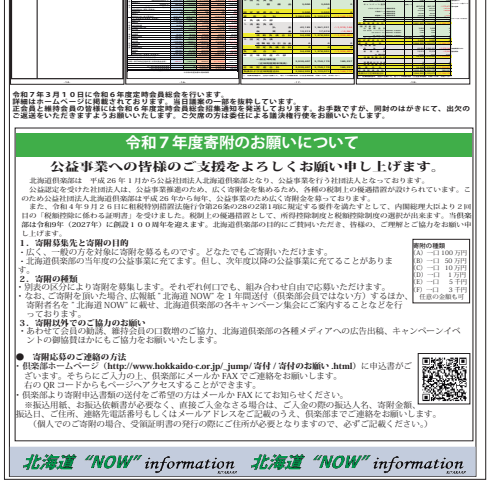
大阪・関西万博でアイヌ文化が世界に向けて発信しました。

北海道 “NOW” information

会報「北海道 NOW」では広報面や自治体ご紹介面を設けています。（広報面は不定期で倶楽部広報の場合があります。）

2026年も広報活動に力を入れてまいります。皆様のご協力をお願い致します。

北海道倶楽部は 2027 年に創設 100 周年を迎えます。



３月号　北海道倶楽部（会員総会報告と寄附のお願い）



７月号　夕張市／北海道倶楽部

８月には夕張支援のメロン付きの「交流のタベ」を銀座ライオンで開催しました。



１０月号　北海道東京事務所

北海道で農業体験の参加者を募集しています。



６月号　パシフィック・ミュージック・フェスティバル

10月の「交流イベント」では修了生に弦楽四重奏を披露していただきました。

２０２５年を振り返りこの１年に広報面に掲載された記事をまとめました。

気象台

今夏の道内やっぱり暑かった！

真夏日、夏日　観測史上最多

猛暑日も12日に

今夏の北海道はやっぱり暑かった！最高気温が30度を超える「真夏日」と、同25度以上の「夏日」を記録した日数が観測史上最多に。35度以上の「猛暑日」も出現、一般家庭でもエアコン普及が進んだ。



暑さをしのぐため水場で遊ぶ子どもたち（北見市で、北海道新聞社提供）

札幌管区気象台によると、真夏日は過去最多だった2023年の70日を上回り、72日を記録。夏日も24年より3日多い130日に達した。猛暑日は12日で、21年の21日、23年の26日に次いで過去3番目だった。

道内で夏日か真夏日を観測した日数は、記録が残る1979年以降、右肩上がりだ。夏日は80年代まで年間100日を超えることはなかったが、2019年以降は毎年100日以上を観測している。夏日の観測日数の最多更新は、今年で4年連続となった。

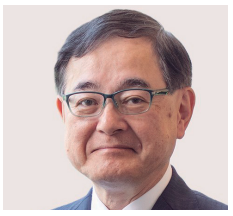
同気象台は、海面水温の上昇や偏西風が北に蛇行したことにより、太平洋高気圧が張り出し、晴天が多く、日照時間が長かったことなど、複数の要件が重なったことが要因と見ている。

道内では、10月1～5日、10月の道内では初めて5日間連続の夏日となった。この残暑も、夏日の記録更新につながったようだ。

道外並みの暑さで、札幌市内などの戸建てやマンションでもエアコンの「標準装備」化が一気に進んだ。昨年、急遽設置した市民は「7～8月は蒸し暑く、エアコンなしではとても過ごせなかった。昔は旧盆が過ぎると秋風が吹いたものだが…」と話した。

北大、寶金学長再任へ

選考・監察会議が決定



寶金清博氏（北大提供）

北大の寶金清博学長（71）の任期満了に伴う学長選挙で、選考・監察会議は11月10日、寶金氏を次期学長予定者に選任した。近く文部科学相の任命を経て選任される。任期は来年4月から4年間。

学長選には寶金氏のほか、阿部弘特任教授（67）、長谷山美紀教授（62）の3氏で争われ、経営協議会の学外委員らでつくる選考・監察会議が合議で決めた。

寶金氏再任の理由について、「学内外の関係者とのコミュニケーション能力にたけ、高い行動力と責任感に基づく大学運営能力に優れている」としている。

寶金氏は2020年度に学長に就任。半導体に関する教育研究の推進や、国連の持続可能な開発目標（SDGs）の達成を目指すサステナビリティ推進機構の設置など、改革を進めた。

国立大学協会副会長も務めており、その発言力への期待などから支持を集めたとみられる。

北大は来年、開学150年を迎える。地域貢献や人材育成など、「2期目」の寶金氏に課せられた課題は少なくない。

札幌にインターコンチ開業

最上階には「セレニティスイート」

札幌市内に10月1日、英ホテル大手が運営する、最上級ブランドホテルの「インターコンチネンタル札幌」が、オープンした。富裕層向けホテルが不足してきた札幌中心部で、国内外からの集客を図る。

「インターコンチネンタル札幌」は、英国のIHGホテルズ&リゾーツが展開。中央区・中島公園東側の複合施設、「ライラックスクエア」の9～14階に入居した。全149室で、最上階には最上級の「セレニティスイート」も。

14階の角部屋で160平方メートル。高級家具などで内装にこだわり、寝室からは豊平川や市街地の眺望が楽しめる。料金は1泊約45万円、海外の要人滞在も想定した。

他の客室も上質さが売りだ。ツインルーム（42平方メートル）は一般的なシティーホテルの約2倍の広さで、1泊朝食付で約6万円から。すでに来年の「さっぽろ雪まつり」の時期を中心に問い合わせがあるという。

一方、IHGは同日、大通近くで「ホリデイ・イン&スイーツ札幌大通公園」（195室）も開業した。宿泊料金は、ビジネス客を想定したスタンダードの客室で、1人1泊1万3000円からとリーズナブル。

札幌での2軒同時開業について、IHGは「顧客が求める多様な旅の機会に合わせた選択肢を提供し、北海道でブランド展開を拡大できることを、うれしく思う」と話している。

インバウンド（訪日客）の増加に伴い、近年、札幌を中心に外資系ホテルの進出が相次いでいる。2024年、道内で宿泊した外国人は過去最高の延べ1031万人に達した。

北海道について、同社は「四季折々の体験を楽しめる魅力ある観光地」と評価している。



インターコンチネンタル札幌のセレニティスイート。内装は豪華（北海道新聞社提供）

MLBグッズショップ新千歳空港に

大谷選手らの人気アイテム販売

ロサンゼルス・ドジャースなど米大リーグ（MLB）の公式グッズを集めた特設店舗「MLBグッズストア」が10月9日～11月16日、期間限定で新千歳空港国内線ターミナルに出店した。ドジャースの大谷翔平選手らスター選手の人気アイテム500種類以上を販売、開店初日から多くの客が訪れた。

MLBグッズなどを扱う福岡市と千葉市の業者が企画、同空港に初めて出店した。

店舗内ではプロ野球日ハムでも活躍した、大谷選手のボブルヘッド（首振り）人形やキーホルダー、パドレスのダルビッシュ有投手のステッカーなどを販売。有名なスター選手のタオルやユニホームなども取りそろえた。

ポストシーズンでMLB人気が沸騰している時期だけに、搭乗客をはじめ一般の買い物客も多かった。

巡視船「そうや」解体へ

47年間北の海守る



釧路海上保安部の砕氷型巡視船「そうや」（3100トン）が11月4日、解体のため母港の釧路港を出港＝写真、北海道新聞社提供＝、北九州市へ向かった。47年間にわたり地球48周分の191万キロを航行、「北の守護神」とも呼ばれた。

「そうや」は1978年11月、海保初のヘリコプター搭載型巡視船として登場。砕氷能力を生かし、北の海で流氷に阻まれ航行不能になった、漁船など救助に当たった。その数、延べ98隻、救助人員は1495人に上る。

また、排他的経済水域（EEZ）内の取り締まりやオホーツク海の流氷観測でも活躍した。

この日、「そうや」が汽笛を鳴らし岸壁を離れると、釧路市民らが「お疲れさま！」と手を振って見送った。代替船の新「そうや」（4000トン）は12月19日に配備される。

北斗声

▼この秋、道内をはじめ東北地方などで、クマによる被害が止まらない。犠牲者も多く、これはもう災害級と言っていい。「緊急銃猟」など聞きなれない言葉も登場、人とクマの対決が続く。

▼環境省によると、11月時点のクマによる死者数は13人に上る。過去最多の6人だった2023年度の、すでに2倍以上となった。道内でも知床半島・羅臼岳で東京からの登山者が、道南では新聞配達中の男性がヒグマに襲われ亡くなった。クマの出没情報に至っては、日常茶飯事だ。

▼かつてヒグマに遭遇したことがある。数年前、知床に旅行した時のこと。斜里町ウトロ（オホーツク管内）側から、知床横断道をドライブしていたところ、道端をのんびりヒグマが歩いていた。やせていて怖さは感じなかったが、撮影しようと、筆者を含め多くの車が停車していたのを覚えている。

▼今考えると、こんな人間本位の行為が「自然界のバランス」を壊しているのだろうか？その意味で、筆者も大いに反省している。

▼「クマがかわいそう」という声が、なお全国の自治体に寄せられている、と聞く。確かに駆除だけでは被害を防ぐことは難しい。ただ、生活圏が脅かされていることは事実、人命保護が最優先である。

（北）



きょうごく 京極町のご紹介

「名水の郷　京極町」観光スポット





○京極のふきだし湧水

京極町のふきだし湧水は、羊蹄山に降った雨や雪が地下に浸透し、数十年の歳月をかけて京極町に湧出したもので、適度にミネラルを含んだまろやかな味と、一年を通して6.5℃前後の変わらない水温が特徴です。水量も十分で、平均湧出量一日約８万トンは、一般的な家庭の水道使用量の約30万人分に相当する水量です。

この湧水は多くの人に親しまれ、環境庁「名水百選」（昭和60年）、国土庁「水の郷百選」（平成８年）や「北海道遺産」（平成13年）に選ばれています。湧水の周辺は、湧水池を中心に三角ステージ等を持つ総合公園「ふきだし公園」として整備し、年間約70万人の観光客が訪れます。

○羊蹄山麓の農村景観

えぞ富士と呼ばれる羊蹄山（1，898ｍ）のすそ野に広がる農村風景は、広大であり力強さとどこかやすらぎを感じさせてくれます。観光客やカメラ愛好家は、四季折々様々な角度から羊蹄山と畑の風景を撮影しています。特に町営牧場からの風景は、他の山麓町村にはない風景と言われています。





主な農作物は、バレイショ、小麦、ビート、豆類などです。雪解けの始まる４月から収穫の終わる10月まで、町内では様々な農の風景を見ることができます。特に初夏は、緑一面のなかに薄紫色のバレイショの花が咲き、畑が一年を通して最も彩られる時期です。



○京極温泉

ふきだし公園のほど近くに、気軽に立ち寄れる日帰り温泉施設「京極温泉」があります。露天風呂から眺める羊蹄山の美しい山容は、京極温泉ならではの絶景です。泉質はナトリウム塩化物・硫酸塩泉で、神経痛、筋肉痛などに効能がありますから、ドライブの途中や羊蹄山登山、スキーの帰りなどに、体を温め筋肉をほぐすのには最高です。

京極町へのアクセス

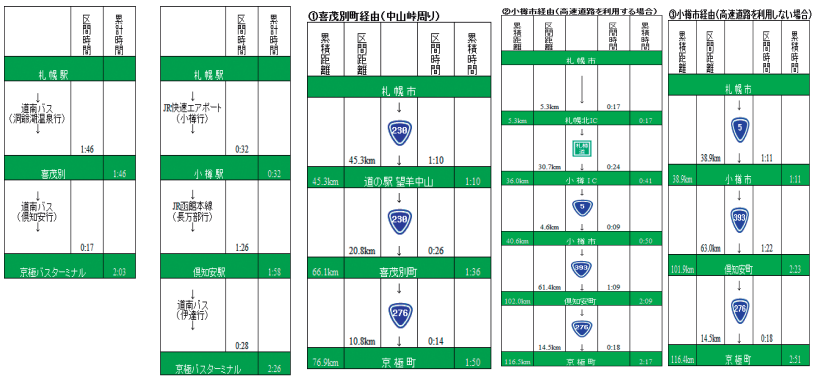
URL：
町 HP：https://www.town-kyogoku.jp/ichi/access/
観光協会 HP：https://kyogoku-kanko.jp/access.html

＜公共交通機関を利用＞

札幌市から　　新千歳空港から

＜乗用車を利用＞

札幌市から



市町村から

○京極町について

京極町は、北海道の西部、後志総合振興局管内の東部、羊蹄山の東山麓に位置し、東は無意根連峰を境に札幌市と隣接し、西は倶知安町、南は喜茂別町、北は赤井川村が位置し、羊蹄山の山頂は、京極町、喜茂別村、真狩村、ニセコ町、倶知安町に分かれています。

気候は、全体に内陸型の気象で、夏季は南東風の風が多く温暖ですが、日中と夜間の温度差が大きく、また、南西部に羊蹄山があるため、農耕期の後半は日照不足の影響を強く受けるなどの特徴があります。根雪は11月下旬、雪解けは４月下旬から５月上旬頃で、道内有数の豪雪地帯です。

○名前の由来

「京極」の地名は、明治30年、京極町に農場を開いた旧讃岐丸亀藩京極高徳子爵の名前に由来します。昭和13年、うち続く凶作に当時、東倶知安村と呼ばれていた京極は、困窮の中にありました。道内各地で小作騒動が起きる中、京極農場は馬主と農民が固い絆に結ばれ、困難な状況でも着実に開拓が続いていました。

それでも、農民の困窮を見かねた当時の農場主京極高修は、農場の全面開放を決意します。喜んだ農民たちは、これを永遠に記念しようと昭和15年、当時の村名を「京極」としました。

○グルメ情報

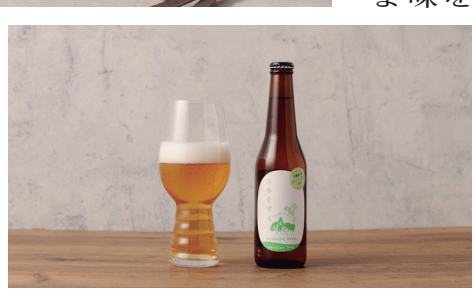
●京極プリン

北海道牛乳と卵黄を使用し、一般的な絹ごし目よりも目の細かい滑らかな濾し工程と精度１℃の徹底した温度管理によって、つやが出るほどのなめらかな舌触りが特徴で、オリジナルのカラメルには京極の名水「羊蹄のふきだし湧水」を使用し、プリンに見合う味わいと香りを実現しています。



●京極麦酒のクラフトビール

毎日約８万トンもの豊かな水量に恵まれた、ビール醸造に最適な環境のもとで「町の人たちに愛される、人と人とを繋ぐものを作りたい」。そんな作り手の思いから生まれたクラフトビールです。



○イベント情報

●名水の里きょうごくやっこいまつり

毎年７月に名水百選に選定された「ふきだし公園」で行われる、水をテーマにした涼やかなイベントです。来場客の皆さんに暑い夏を涼しんでもらえる「名水かき氷早食い競争」のコーナーをはじめ、歌謡コンサートなどのステージショーなども行われる、楽しい企画が盛りだくさんのお祭りです。



移住等について

○定住促進事業補助金

京極町に定住を希望する方に新築した住宅、中古住宅を購入した費用の一部を補助金として交付しています。

町内業者で新築住宅を建てた場合、子育て世帯で３００万円、それ以外で１５０万円。町外業者で新築住宅を建てた場合、子育て世帯で２００万円、それ以外で１００万円。高性能・高品質住宅（「北方型住宅」かつ「きた住まいる登録」）の場合は追加で１００万円補助しています。また、中古住宅（土地代含む）は購入価格の１／10（上限１００万円）を補助しています。

○京極町移住支援金

京極町内への移住・定住の促進及び中小企業等における人手不足の解消のため、東京圏から京極町に移住した方で、北海道から指定を受けた企業に就職した方に対し、支援金を交付しています。

支援額　単身　６０万円
　　世帯１００万円

○施設など

●京極町生涯学習センター「湧学館（ゆうがくかん）」



生涯学習センター湧学館には、図書室や郷土資料コーナーがあり、水にまつわる資料が充実しています。

●スリーユーパーク

名水が有名なふきだし公園の東側に位置しており、恵まれた自然環境下でのパークゴルフやキャンプなどを楽しむことができます。

自然との調和の中、心の豊かさと人とのふれあいを基調とした施設で、地域住民をはじめ、近隣市町村の多くの人の交流拠点の場となっています。



ふるさと納税

○京極町へのふるさと納税を募集しています。

京極町へ寄附された方には、特産品の野菜や京極の名水、クラフトビール、ジンギスカン、京極プリン等を返礼品として贈呈しています。

また、いただいた寄附金は、水資源等環境保全事業や移住定住促進事業、ふきだし公園周辺再開発推進事業などに活用させていただいております。



※掲載されているイベント情報は諸事情により開催日程の変更、中止の可能性があります。ご了承ください。

●お問い合わせ　京極町役場
〒０４４－０１０１　北海道虻田郡京極町字京極５２７番地
ＴＥＬ：０１３６－４２－２１１１　ＦＡＸ：０１３６－４２－３５５５
E-mail：kikaku@town-kyogoku.jp
公式ホームページ：https://www.town-kyogoku.jp/